

一般質問

9月議会では、11名の議員が市政に対して、一般質問を行いました。

議会だよりでは、一般質問の要旨を各議員の文責において掲載しておりますが、紙面上、文字数に制限があり、なかなか思いや考えを伝えることができません。しかし土岐市ホームページでは、インターネットによる議会映像の配信や定例会・臨時会の会議録を掲載しています。ぜひアクセスして、詳細をご覧ください。

●アクセス方法

視聴の場合

土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒
議会ライブ中継 ⇒ 本日の議会中継
⇒ 過去の映像 ⇒ 一般質問

文書の場合

土岐市ホームページ ⇒ 市議会 ⇒
議会会議録検索 ⇒ 会議録検索システムへ

●問 C街区の1.1ヘクタールの土地については、今も続く不況の中ではありますが、市が取得をさせていただいております。それは、PRPの土地の関連では、チェルシーだけではないかとかいう話、土岐市を元気にしたいと夢を抱いている地元経済界の方がおられ

お聞きします。

●答 C街区について、年初1.1ヘクタールを3億4千700万で取得したわけです。取得後それほど間もなく、具体的なプランも発表されていませんが市民の関心も高いことから質問させて頂きます。私は土地の購入に反対し、C街区よりむしろ隣接するE街区、財産区が温泉掘削した土地の開発を優先すべきであると主張しました。がしかし買ってしまった以上、何とか市の発展のためにスピーディに一日も早く有効利用して欲しいと願っています。市長は3月議会の質問に答えて、雇用確保、税収確保、賑わい確保をやりたい、任期最終年度の大きな仕事だろうとの答弁でした。その後の経過についてお聞きします。

◆プラズマリサーチパーク内、C街区について



○ 長江 光則 ○

るはず、この土地にはまだまだチャンスがいっぱいあると考えておりまして、そういった方々を含めてということができるとかという協議をしてもらう、また地元経済界がとにかく元気になれるように商工会議所にリードしていただきまして、経済界の意見を一つにまとめるように依頼をさせていただきました。まさに今、その協議がされている最中だと思っております。

●問 最中ということですが、私も商工会議所の会員であります。今日まで具体的な説明でありますとか案内でありますとか、参加の募集案内とかそういったことはされてはいませんが、どうも腑に落ちないと思っております。想定される大きな投資は市内の業者では無理ではないのかというような声も聞いております。そうすると、当初のくるみとは随分かけ離れてしまっているのですが、どのようにお考えでしょうか。

●答 市内の業者には元気な方が土岐市の中にはまだまだ見えるということでご依頼をさせていただいておりますのでご理解のほどをお願いしたいと思います。



● 塚本 俊一 ●

◆後発医薬品（ジェネリック医薬品）について

問 厚生労働省では、平成24年までにジェネリック医薬品の数量シェアを30%以上にする目標を掲げていますが、本市の現状はどうか。

答 本市ということですが、総合病院の現状について言えば約12%の使用であります。DPC対象病院となり入院治療の際の薬品等の材料費抑制は、経営の健全化にもつながりますので、今後も患者様の安全性を一番に考えながら引き続きジェネリック医薬品の採用の検討を進めてまいります。

問 具体的な普及促進策として、ジェネリック医薬品希望カードの配布としてはどうか。

答 平成21年度1月下旬に、後発医薬品の普及促進のためジェネリック医薬品を希望します旨の意思表示カードの配布要請がありましたので、国保窓口にリーフレットと合わせて窓口相談時にお持ちいただけるように対応をしております。

問 ジェネリック医薬品の薬代は、自己負担額が安くなるとのPRを考えているか。

答 市の医療費は、平成20年で38億5千996万4千円で平成21年が40億6千90万7千円で、対前年比5.2%増であります。医療費抑制のためにも地元医師会とも慎重に協議する中で対応を進めていきたい。

◆環境配慮契約の取り組みについて

問 温室効果ガスの排出削減を考慮したグリーン購入法による契約の現状はどうか。

答 市では、紙類・文房具・事務用品・衣料品・自動車を特定調達品目と定めています。4分野35品目についてグリーン購入しており、平成21年度特定調達品目の全購入数量のうち適合品調達率99.83%となっています。今後ともグリーン購入を推進していきます。

問 環境配慮契約法による契約を考えているか。

答 短期的に見ると費用対効果という面では、環境配慮型というのはコスト面で不利になるというようなことも考えられます。今は考えていませんが長期的な考えの中で、メリットや効果を整理していく中で導入を検討してまいりたいと考えています。

《第4回定例会一般質問》



● 松浦 勝男 ●

◆婚活について

問 最近の男女は結婚せず独身貴族のまま過ごしてしまうような風潮が見られます。そこで婚活「ふれあいパーティー」の現状についてお伺いします。

答 現在「ふれあいパーティー」は、土岐市青年団体協議会の主催で開催しています。「ふれあいパーティー」は必ずしも結婚が目的ではなく出会いのきっかけづくり、友達づくりという場として開催しています。

問 年齢制限はありますか。

答 20歳以上の独身男女というふうにしてあるだけと聞いています。

問 年何回開催されていますか。

答 平成17年度以降年1、2回開催しています。1回当たりの参加者は、約50人程です。

問 「ふれあいパーティー」開催後の状況をお伺いいたします。

答 男性64人のうち30代がもっとも多く41人、40代15人、20代7人。女性43人で30代が多く27人、20代9人、40代3人です。こうした中で、毎回

カップルが誕生しておりますが、結婚までについては、青年団として把握しておりません。

◆災害時被災者確認と避難誘導について

問 高齢者（独居老人）安否確認をするため情報を自治会の役員に知らせることができないでしょうか。

答 高齢者（独居老人）の情報提供につきましては、土岐市個人情報保護条例の10条により本人同意に基づき行うべきであると考えております。昨年度から「土岐市災害時要支援事業」を実施致しております。本人の登録により実施しています。

問 自治会に入会していない独居老人者については市側としてどのような指導をされているかお伺いします。

答 自治会に加入、非加入に関わらず把握を行い、民生児童委員の皆さんの呼びかけやダイレクトメールにより登録を呼びかけております。

問 登録の進捗率をお伺いします。

答 3千500人に発信、登録は1,532人で43.8%です。

問 避難する際独居老人の連絡はどうしたらよいのかお伺いします。

答 近親者の連絡先を書いた台帳を町内会長さんにお渡しし連絡を取って頂く体制になっています。



● 速水 栄二 ●

◆安全・安価・美味しい水道水

問 水道水の安全性をミネラルウォーターと比較すると。

答 水道法第4条で、50項目の基準があり、水質基準に適合の義務が課せられている。ミネラルウォーターは食品衛生法の規定で18項目の基準があります。

問 水道水とペットボトル水の価格の違いは。

答 市販のボトル、1リットル220円として、水道料金1リットル19銭となり、単純に比較すると水道水の1158倍になります。

問 世界の半数の国々が安全な水を求めている、日本の水道水がそのまま飲める事に驚いてみえます。

答 蛇口から出る水を直接飲める国は世界でも十数カ国しかないと言われており、私どもの使命は各家庭に安心して利用できる水を供給する事にあります。

◆見直されたか市民バスの路線と時刻

問 はなの木大学講座終了に合わせた

バス時刻になったのか、また駄知から多治見の高校に通学する生徒の私鉄バス時刻の変更不能について

答 大学生にアンケートを実施して、バスの時刻の変更というよりも、講座の調整でどうかお願いしたいと思っています。健康体操クラブの活動場所は、ルナホールの利用でお話しています。路線バスと市民バスの実証運行を3年間実施し、適時事後調査をし、運賃体系や路線網の見直しを図って行きます。

● 公共が応えてくれなければ、市民の事を一番に思えば、デマンドバス「戸口までの迎え」に変えなくてはと私は思っております。

◆人事院勧告とは

問 人事院勧告、強制力があるか。

答 強制力はありません。

◆審議会・審査会の見直し

問 審議会、審査会の人員と報酬

答 62あり委員数697人、報酬日額7千円、1人で15兼務がみえます。

その他の質問事項

・職員「のわたり」があるのか。
・職員家族等の各施設への優遇入所
・官公庁オークションに参加しないか。

《第4回定例会一般質問》



● 渡邊 隆 ●

◆総合病院の経営と改革

問 病院経営の現状について、財務内容、医療機能、専門医の確保は。

答 大きな赤字を繰り返しています。純損失3億8千万円余です。昨年より10%強の減額に努めています。非常に危機感を持ち改革プランをつくり、確かに厳しいが赤字のたれ流しから一歩であるが脱出をしています。是非総合病院へ少しでも収益への寄与を願っています。

問 財務効率について経常収支率、特に医療収入に対しての人件費の占める割合が高く、収支を圧迫している要因となっている。どう考えるか。

答 人件費が大きな部分を占め、収支を圧迫しているのは事実です。簡単に削減できない。収入を増やす努力を重ねています。

問 連結決算で単年度実質収支が赤字です。財政力についての判断を。

答 赤字の指摘ですが、財源対策債は一銭もない。他市では認められる額を一杯に借りて決算をしているが本市は財政調整基金を使って、借金を

減らしている。赤字ですが財政に特に不安はありません。

問 未処理欠損金累計赤字29億円、長期借入地方債は多額ですがどう理解すればいいか。

答 累積赤字は小さいものではありません。改革プランに基づいて現在赤字の減額に努めています。平成元年からの借金が今50億円あります。私が16億円引継ぎ、13億円つくりました。結果的に29億円借金ですが現金をよそから借りてはいません。

◆新しい給食センターの経営と学校給食の運営について

問 新しいセンターがオープンするが食育に力を入れる方向での学校給食はどんな運営になるのか。

答 基本的には変わらない。食事内容、センターの営みで食育の質の向上へつなげていきたい。

問 具体的に父母が求める弁当の日、朝食欠食ゼロ、栄養教諭の増配、食物アレルギーの対応はどうするか。

答 食を通して学ぶことを踏まえて、弁当を子供が作る意義はあると思います。栄養教諭の増配は計画的に進めたい。アレルギーの対応については検討委員会を立ち上げに向け情報収集しています。